

ブリット＝マリーの幸せなひとりだち (2019)

BRITT-MARIE VAR HAR
BRITT-MARIE WAS HEREメディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 スウェーデン
色彩 Color
時間 97分
初公開日 2020/07/17
公開情報 松竹
映倫 G

【キャッチコピー】

結婚して40年
エプロン外して
第二の人生はじめます。63歳・頑固な主婦に訪れた、青天の霹靂。
ひとりで家を飛び出した彼女を待ち受けていたのは、《予想外》の連続だった！

【解説】

本国スウェーデンでベストセラーとなったフレドリック・バックマンの『ブリット＝マリーはここにいた』を、スウェーデンの国民的女優ペルニラ・アウグスト主演で映画化した人生再出発ドラマ。40年間も夫に尽くしてきた専業主婦の女性が、夫の裏切りを知り、63歳にして新たな人生に踏み出す姿をハートウォーミングに綴る。監督は「ヒトラーに屈しなかった国王」「ボルグ/マッケンロー 氷の男と炎の男」など女優としても活躍し、監督としては本作が長編2作目となるツヴァ・ノヴォトニー。

結婚して40年になるブリット＝マリーは、仕事で忙しい夫を献身的に支えるべく、主婦業を黙々とそして完ぺきにこなしてきた。ところがある日、ひょんなことから夫に長年の愛人がいることが発覚する。スーツケースひとつを手に家を出たブリット＝マリーだったが、ようやく見つけた仕事は小さな田舎町のユースセンターの管理人兼、地元サッカー少年団のコーチというものだった。子育ての経験もなく、サッカーのこともまるで知らないブリット＝マリーは案の定、やんちゃな子どもたちの指導に手を焼くのだったが…。

【クレジット】

監督 ツヴァ・ノヴォトニー Tuva Novotny
製作 グスタフ・オルデン Gustav Olden
ニクラス・ヴィークストREM・ニカストロ Nicklas Wikstrom Nicastro
製作総指揮 フレドリック・ヴィークストREM・ニカストロ Fredrik Wikström Nicastro
アンニカ・サクسدローフ Annika Sucksdorff
ヨーン・M・ヤコブセン

原作 フレドリック・バックマン Fredrik Backman

『ブリット＝マリーはここにいた』
(早川書房刊)

allcinema

脚本	ツヴァ・ノヴォトニー	Tuva Novotny	
	アンデシュ・アウグスト	Anders August	
	エイスタイン・カールセン	Øystein Karlsen	
撮影	ヨナス・アラリク	Jonas Alarik	
プロダクション デザイン	カタリーナ・ニークヴィスト・エールンルー ト	Catharina Nyqvist Ehrnrooth	
衣装デザイン	キッキ・イランダー	Kicki Ilander	
編集	モーテン・エグホルム	Morten Egholm	
	フレデリク・シュトルンク	Frederik Strunk	
	ホーカン・カールソン	Hakan Karlsson	
音楽	ギンゲ・アンヴィク	Ginge Anvik	
出演	ペルニラ・アウグスト	Pernilla August	ブリッ ト＝マ リー
	アンデシュ・モスリング	Anders Mossling	スヴェ ン
	ペーター・ハーバー	Peter Haber	ケント
	マーリン・レヴァノン	Malin Levanon	バンク
	ランスロット・ヌベ	Lancelot Ncube	
	ヴェラ・ヴィタリ	Vera Vitali	
	オッレ・サッリ	Olle Sarri	